

高校生の進路意思決定の追跡調査 - 進学者の事前期待と満足 -

齊藤貴浩
大学評価・学位授与機構
E-mail: tksaito@niad.ac.jp

背景

- 高校生は何を期待して大学等に進学するのか？
- 大学等進学者の期待は満たされているのか？
- どのような要因が満足に影響を与えているのか？

進路指導の改善
大学教育の改善

先行研究

- 高校生は何を期待して大学等に進学するのか？
進学動機や考慮条件に関する研究(例えば、淵上(1984),
八木・齊藤・牟田(2000), 吉中(1994)など)
- 大学等進学者の期待は満たされているのか？
- どのような要因が満足に影響を与えているのか？
大学における一連の授業評価
学生の満足度評価

学生の満足とは？

- 顧客満足: 商品やサービスの購入が、顧客の期待または理想を基準として認知的かつ情動的にそれを満たすあるいは超える程度を表す概念 (Oliver 1997)
 - Noel-Levitz "Student Satisfaction Inventory"
(アメリカの調査会社による、有名な(学生による)大学評価)
 $expectation (importance) - satisfaction = performance gap$
これは正しい？
 - 学生による授業評価・学生の満足度
その多くは大学に進学した後の満足度の測定
- (問題点) 大学の場合、
- 進学者の期待の基準はあいまい
 - 進学後の状況によって、その基準は容易に変化する
- 進学者の本当の期待は、入学前のデータからしかわからない

目的

- 高等教育進学者の期待は満たされているのかを明らかにする
「入学前の進学先への期待」と
「入学後の満足」の比較検討
- どのような要因が期待と満足の差異に影響を与えているのかを明らかにする
(進学先の学校が第1志望校か否か等)

大学教育および進路指導の改善へ

方法

(1) 高校生の進路選択時の調査

調査対象 : S県立高校の3年生379名(男性188・女性186・不明5)
調査時期 : 2001年11月のLHRの時間
調査方法 : 質問紙を配布回収

(2) 卒業後の追跡調査

調査対象 : 同上
調査時期 : 2002年8月
調査方法 : 郵送法
回収数 : 176名(男性70名, 女性104名, 不明2名)

有効回答数

高等教育進学者で、両方の調査に回答し、かつ対応を取ることが可能な回答者 114名(男性40名, 女性74名)

質問項目

(進路決定前)

期待(進学動機および考慮条件)(5段階評定)

- 進学動機(1.まったくあてはまらない - 5.とてもあてはまる)
- 考慮条件(1.まったく考慮しない - 5.とても考慮する)

(進学後)

満足(5段階評定)

- 進学動機(1.まったく満たされない - 5.とても満たされる)(将来予測)
- 考慮条件(1.まったく満足していない - 5.とても満足している)
- 総合評価(進路に満足)(進路決定が正しい)
(1.まったくそう思わない - 5.とてもそう思う)

現在の進路(選択肢)

- 現在在学する学校が第一志望か否か

入学者の期待と満足(進学動機)

(n=114)

(満足-期待) $+ < .10, ** < .01$

- 友人関係で 期待 < 満足
- 社会に出てからの事柄については、事前の期待の大きさを反映して 期待 > 満足

入学者の期待と満足(進学動機)

進学先が第一志望校 (n=46)

進学先が第一志望以外の学校 (n=68)

■ 全体的傾向はほぼ一致
■ 「エンジョイする」は「第一志望」で 期待 < 満足
■ 社会的な事柄については、「第一志望以外」で 期待 > 満足

$+ < .10, * < .05, ** < .01_9$

入学者の期待と満足(考慮条件)

(n=113)

(満足-期待) $+ < .10, * < .05, ** < .01$

- コンピュータ等の設備、興味ある科目、友人で 期待 < 満足
- その他のほとんどの項目で 期待 > 満足

入学者の期待と満足(考慮条件)

進学先が第一志望校 (n=46)

進学先が第一志望以外の学校 (n=67)

■ 「経済的条件」と「場所」は、「第一志望以外」で 期待 > 満足 傾向大
■ 「知名度」「評判」も、「第一志望以外」で 期待 > 満足
■ 「コンピュータ等の設備」「友人」「教員の質」は、「第一志望」で 期待 < 満足

$+ < .10, * < .05, ** < .01_1$

満足度の総合評価への影響

■ 期待に関する因子分析の結果を参考に、変数を生成
属性：性別 / 理系文系 / 国立私立 / 第1志望か否か
動機：就職 / 知識探求 / エンジョイ / 資格取得 / 施設設備
考慮：就職 / 知名度・評判 / 職業的資格 / 分野・科目 / 教員の質 / 経済的・物理的条件
満足度の総合評価：「進路に満足」「進路決定が正しい」の和

	t値	有意確率
(満足-期待)		
(考慮) 分野・科目	.305	3.550 .001
(考慮) 経済的・物理的条件	.209	2.375 .019
第1志望校進学	.187	2.129 .036

$R^2=.21, \text{ Adjusted } R^2=.19$

まとめ(1)

(進学動機)

- 進路選択時には、学びたい分野、興味のある分野、就きたい職業などを期待して進学先を選択。
- しかし、期待ほどには満足していない。
- 同様の目的を持つ友人を得ることは満足が得られている。

(考慮条件)

- コンピュータ等の設備、興味ある科目、友人、キャンパスの綺麗さ、教員の質の項目を除き、期待よりも満足が小さい
- 全体的に見て、第一志望以外の方が満足度が低い

13

まとめ(2)

- 分野や科目に関する事柄に満足し、経済的・物理的条件に満足し、第1志望校に進学しているほど、進路選択に関する満足は大きい
- 自分の設定した基準よりも劣る学校に進学したため？
(実際には大学間の差はそれほど大きくはないはず)
第一志望校という選択肢を捨てざるをえなかったことから、満足の判断基準そのものが変化していることが予想される
- 大学が進学者の期待に見合ったサービスを提供できていない？
- 入学後の現状の把握、他大学の情報などから、満足を規定する基準が変化

14